（共同リリース）

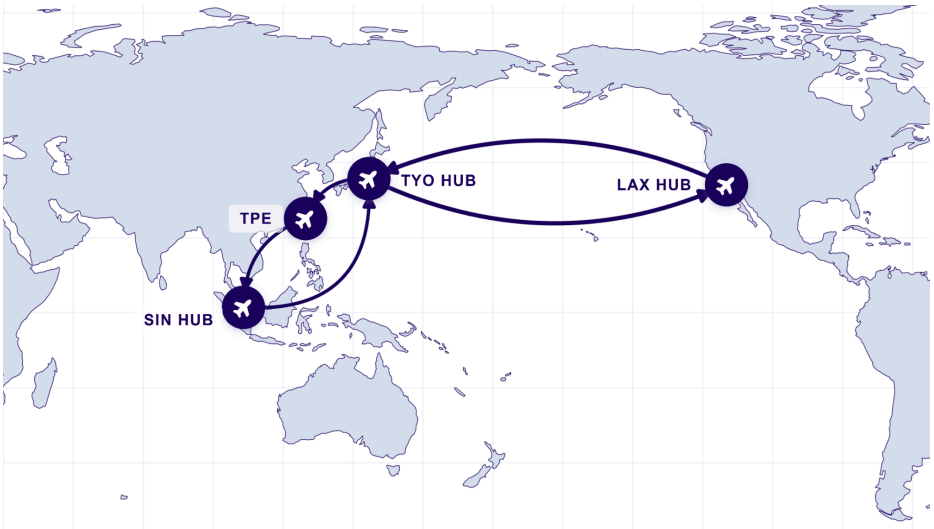
2026年10月1日
日本航空株式会社
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

JALとNXグループ、アジア域内および北米＝アジア間の輸送提携を開始

～AI・半導体関連貨物の輸送需要拡大にお応えし、
大型貨物機による輸送ネットワークを構築～

日本航空株式会社（以下「JAL」）とNIPPON EXPRESSホールディングス株式会社（以下「NXグループ」）は、JALがパートナーとの連携により運航するボーイング747型貨物専用機（以下「747F」）(*)を活用したアジア域内および北米＝アジア間の輸送提携を開始します。本サービスは、ロサンゼルスを起点に、成田、台北（桃園）、シンガポール、成田を経由して再びロサンゼルスへ戻る周回ルートで運航し、北米＝アジア間、そしてアジア域内の活発なニーズにお応えします。初便は2026年10月3日（土）にロサンゼルスを出発します。2026年は週1便で運航を開始し、今後も更なるネットワーク拡大に向けて取り組んでまいります。

(*)10月01日付JALプレスリリース｜貨物専用機　2026年下期 路線便数計画を決定
https://press.jal.co.jp/ja/release/202610/009743.html



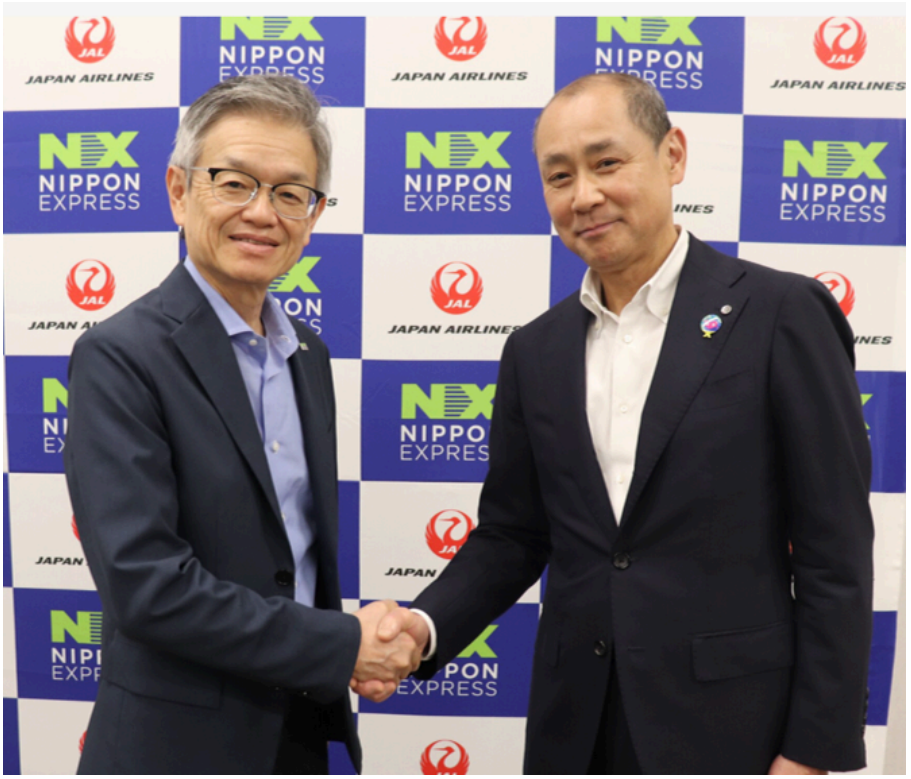
■サービスの特徴

- **アジア域内における希少な大型貨物機スペースの確保**
  現在、特に東京・台北・シンガポール間においてAIおよび半導体関連貨物の需要が非常に大きくなっている一方で、アジア域内は大型貨物機を運航する航空会社が少なく、選択肢としては限定的です。当サービスで成田－台北－シンガポール－成田のルートを最大積載量約100tの747Fで運航することで、アジア域内において重要なネットワークとして、独自の付加価値の高いサービスをお届けします。

- **北米とアジアを結ぶ輸送ネットワークの強化**
  周回ルートの各寄港地において貨物の積み込み・取り卸しが可能なため、多様な輸送ルートの設計や効率的な輸送オペレーションを実現し、北米（以遠の中南米を含む）＝アジア間の貨物輸送ニーズに柔軟にお応えします。

- **成長著しい高付加価値貨物への対応**
  大型貨物機ならではの特性を活かし、生成AIの普及やデジタルインフラ投資の拡大に伴い増加するサーバーラック、データセンター関連設備などの大型・重量貨物や、高付加価値貨物の輸送需要にお応えします。

両社は、本提携をきっかけに安定的かつ柔軟な航空輸送力を確保し、多様なニーズにお応えする最適な輸送サービスをお届けするとともに、物流インフラとして持続的な成長を目指します。



■代表者コメント

日本航空株式会社　執行役員　貨物郵便本部長　木藤 祐一郎

今回の提携は、長年にわたるJALとNXグループのパートナーシップをさらに強固にするものです。JALは旅客便、自社貨物便ネットワークに加え、今般のNX様との提携により、大型貨物機を新たに北米西海岸に就航します。成長著しいマーケットにおいて、航空貨物ネットワークを拡充し、JALCARGOの高品質な貨物ハンドリングサービスをより多くのお客さまにお届けしてまいります。

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社　専務執行役員　グローバル事業本部長　大辻 智 氏

今回の提携により、NXグループは、お客様の高度化・多様化する航空輸送ニーズに対し、より安定的で柔軟な輸送ソリューションを提供できる体制を強化します。JAL様との長年にわたる協力関係を基盤に、大型貨物機を活用した国際航空貨物ネットワークをさらに拡充し、お客様のサプライチェーンの安定化と事業成長に貢献してまいります。

<本件に関するお客さまお問い合わせ先>
日本航空株式会社　貨物郵便本部　お客さまお問い合わせ窓口
https://www.jal.co.jp/jp/ja/jalcargo/support/contact/webmaster/

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社　グローバル事業本部　航空フォワーディング部
Email：nxhd-AirFWDG-Procurement@nipponexpress.com
担当：東山 明弘 宛

以上